## ゆめみにゆーす

悸 刊 VOL. 24

発 行 日 平成24年5月11日 発行責任者 夢見ヶ崎動物公園 問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:24種173点

鳥 類:26種140点

爬虫類:11種50点 (平成24年4月末日現在)

### レッサーパンダのお慣さんが来ました



ファファ 🗸 平成 22 年 6 月 28 日生まれ

ファファはとにかくマイペースで、多少のことには動じません。今回の「引っ越し」も、あまり気にな



アン ♀ 平成 22 年 6 月 15 日生まれ

っていないようで、こちらに到着し、新しい部屋に入ってものの数十秒で竹の葉を食べ始めたくらいです。また、食べるのも移動するのも、アンと比べてゆっくりです。

また、2頭は寝相も違います。アンは暖かい時以外は丸くなって寝ていることが多いのですが、ファファは両手両足を木の上からだらん、と垂らして眠ります。これは性格の違いもあるのかもしれませんが、雪国出身のファファはアンより暑がりなのかもしれません。

これから初夏の陽気で、元気になってくる動物たちがいる一方、レッサーパンダたちは早くも「暑い!」と言わんばかりで、涼しいところでゴロゴロ、あまり活発に動く様子は見られなくなってくると思います。これは仕方のないことです。ぜひ、温かく見守っていただけますよう、よろしくお願いします。

#### ありがとうユキ

平成 24 年 4 月 14 日の午前 9 時過ぎ、シベリアヘラジカ姉妹の妹、ユキが亡くなりました。12 歳 10 カ月でした。

昨年春からおよそ1年間にわたる足の治療を最初は嫌がっていましたが、そのうちおとなしくやらせてくれるようになっていました。

残された1年年上の姉、ポロウは少し食欲が落ちるなどしていましたが、今ではだいぶ回復しています。少し神経質になっているので、静かに見守っていただければと思います。

今まで長い間ユキをかわいがってくれた皆さま、どうもありがとうございました。そしてユキ、お疲れ様でした。



# ☆ピックアップ動物☆ケースハイラックス

分類:哺乳綱 イワダヌキ目 イワダヌキ科



▲エース(左)とエルモ(右)

野生ではアフリカ大陸の岩山に群れで生息する動物で、ゾウやジュゴンなどと近縁といわれています。

この2頭は広島市安佐動物公園からやってきた平成22年生まれの兄弟です。手足は短いものの、壁などをけって活発に跳び回ります。また、狭いところが大好きで、隙間を見つけては入り込みます。

普段は隠れていますが、背中の中央には分泌腺があり、興奮すると周りの毛が逆立ちます。床や壁にゴロンと転がって背中をこすりつける姿もよく見られます。また、排泄する場所は1か所に決まっています。大きな葉っぱなどの餌を食べるときは前足で器用に押さえる姿も見られます。

体温調節が苦手なので、寒い時は暖房の効いた 床に、リラックスして伸びている姿が見られると 思います。

★エースは平成 24 年 5 月 11 日、消化器系の炎症のため亡くなりました。可愛がっていただいた皆様、ありがとうございました。

#### 獣医の日記



動物園の動物はケガや病気をするたびに病院で治治療するたびに病院でもありません。病院に入れない大きさだがらいというものもいますが、群れで暮らす動物の場とが、お療が長いと、治療が終れて解したとたを動間が長いと、治療が終ん、「知らないやつ」として攻撃

を受け、群れから追いだされてしまうことがあるからです。

例えば、平和にひなたぼっこをしている姿がよく見られるレムールたちですが、しばしばケンカし、手足に傷を負うことがあります。人間なら何日か入院しそうな傷でも、時にはその場で縫合して、すぐ群れに帰します。…とはいえ、そのまま帰したのではまたやられてしまいます。こんな場合、ケージや扉ー枚越しの「お見合い」を行います。もともと仲が悪いわけではないので、相手の顔は見えるけど手は出せない、そんな状態でしばらく過ごすことで、ケンカのほとぼりも冷め、治療が終わるころにはすんなり群れに合流できることが多いです。

ちなみに、サルの仲間はほとんどそうですが、指先が器用なので、せっかくきれいに縫合した糸を全部取ってしまうことがよくあります。そんな時でも傷はきれいに治ってしまい、動物の体はすごいなぁと、他人事のように感心します。



★動物たちの主な移動(平成24年2月1日~平成24年4月30日)★ シセンレッサーパンダ(♂1 BL)、ケープハイラックス(♂2 譲受)、シベリアヘラジカ(♀1死亡)、ワオキツネ ザル(♀1死亡)、マーコール(♂1死亡)